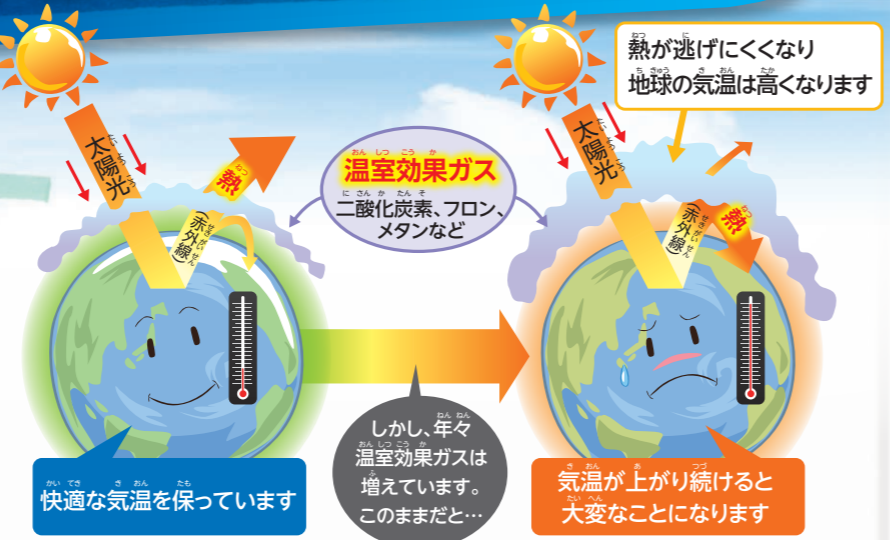


あっとほうむ
10月2日
2018

「地球温暖化」ってなんだろっ!!

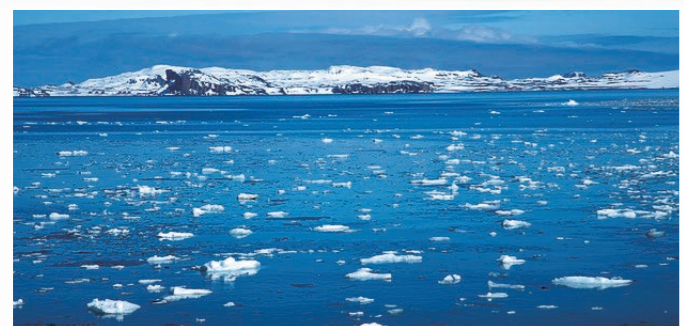
地球温暖化とは

地球は太陽から降り注いでくるエネルギーで暖められ、地表からは赤外線の形で熱が放射されています。この熱のすべてが宇宙空間へ逃げてしまうと、地球はとても寒くなり、私たち人類や生物が暮らしにくい環境になります。しかし、地球の気候には二酸化炭素やメタンなどの「温室効果ガス」が含まれていて、地表から放射される熱を吸収し大気を暖める役割を果たしています。



しかし、逆に温室効果ガスが増えすぎると、地球を暖かくしすぎてしまいます。18世紀後半から、産業革命に伴い人類は、石油や石炭などの化石燃料を消費することで大気中に二酸化炭素を排出し続けてきました。その結果、地球の平均気温が上がり続けています。これが「地球温暖化」です。

地球温暖化がすすむと



南極の氷や高い山の氷河が解けだす



海面が上昇し、海岸が浸食したり、島が沈没する



異常気象で干ばつが起き、食糧不足となる



豪雨や洪水などの自然災害が起きる

地球温暖化による気候の変動は、人類をはじめ全ての生命の存在に関わる重要な問題です。最近では、異常気象と呼ばれる現象が増え、世界中に深刻な被害が出ています。日本でも猛暑や集中豪雨が増え、農作物が今までと同じように育たなくなったり、これまでいなかった害虫の被害が増え、マラリアのような熱帯地方の病気も日本で発生するかもしれないと言われています。

公益財団法人 福井原子力センター
原子力の科学館
あっとほうむ
入館無料
福井県敦賀市吉河37-1
☎0120(69)1710
開館時間 9:00~17:00 休館日/年末年始
北陸自動車道敦賀インターから車で3分
JR北陸本線敦賀駅から車で10分
あっとほうむ 検索 <http://www.athome.tsuruga.fukui.jp/>

温暖化対策

温室効果ガスを減らす方法には、省エネルギー、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入、森林資源の有効活用など。また将来起こりうる影響に適応するため、高温に耐える農作物の開発、高い水温を好む魚の養殖、水資源の確保、有害鳥獣を捕獲するなど生態系の維持、自然災害に備えた河川の整備などがあります。

私たちが身近にできる省エネルギー、二酸化炭素を減らす方法

☆節電のために

- 家族がなるべく同じ部屋で過ごす
- エアコンの温度設定は暖房は20℃、冷房は28℃が目安
- 人のいない部屋の照明は、こまめに消灯
- テレビの画面は、明るすぎないように調節
- 冷蔵庫は開閉を少なく、物を詰め込みすぎない
- 使わない電気製品はコンセントからプラグを抜く



☆お出かけ・お買い物のときは

- 近くは徒歩や自転車で行く
- 電車・バスなど公共交通機関を利用
- 自動車を使うときはエコドライブ
- 食材は旬の物、地元産の物を選ぶ
- 詰め替え製品や、ばら売り・量り売りの商品を購入



☆そのほかに

- ゴミの量を減らし、リサイクルする
- 二酸化炭素を吸収する植物を大切に育てる



など、私たちにできる温暖化対策を考えてみましょう。

温暖化にも適した新品種のお米 「いちほまれ」の誕生

1956年に福井県農業試験場で生まれた「コシヒカリ」は、日本で一番多く生産されている品種です。しかし、温暖化の影響による品質の低下や収穫量の減少が心配されています。そこでコシヒカリに代わり、気温の上昇にも適した新しい品種を開発するため、2011年に農業試験場に「ポストコシヒカリ開発部」を新設し、およそ6年の歳月をかけて次世代を担う全く新しいお米「いちほまれ」を誕生させました。

絹のような白さと艶、口に広がる優しい甘さ、粒感と粘りの最高の調和が特徴で、この命名には、「日本一(いち)おいしい、誉れ(ほまれ)高きお米」となって欲しいという思いが込められています。

「いちほまれ」はどんなお米?

1. 消費者の好みに合った「甘くて、もちり、なめらかな食感」が特徴。
2. 夏の暑さでもきれいに実り、倒れにくい。おいしい味を実現。
3. 病気に強く、有機質肥料で安定して栽培できる。農薬や化学肥料の使用を減らし、ふるさと福井の自然に負荷が少ない。

